

伊集院保健所感染症情報

2026年第17週（令和8年4月20日～令和8年4月26日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：水痘

管内流行発生警報発令！：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第14週	第15週	第16週	第17週	先週からの増減	第16週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	59.00	67.00	67.00	75.00	↗	43.70	↗
インフルエンザ	30	10	10	5.00	0.50	0.00	0.00	→	0.46	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.19	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	3.00	3.00	1.00	↘	0.81	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	3.00	7.00	10.00	↗	2.55	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	4.58	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	1.00	1.00	→	0.16	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.77	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.16	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.35	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.10	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
RSウイルス感染症	—	—	—	3.00	2.00	1.00	2.00	↗	1.10	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC ゴールデンウィーク中に海外へ渡航される皆様へ

海外で感染症にかからないようにするために、感染症に関する正しい知識と予防方法を身につけましょう。

※ 旅行中に注意すべきこと

- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は、十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 動物は、狂犬病や鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあります。また、ヒトコブラクダはMERSコロナウイルスを持っていることがあります。むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- 薬物やゆきずりの性交渉で感染し、一生後悔することのない行動をとりましょう。
- 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。



麻しん（はしか）に注意しましょう！

<主な症状>

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ 2～3 日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発しんが出現します。

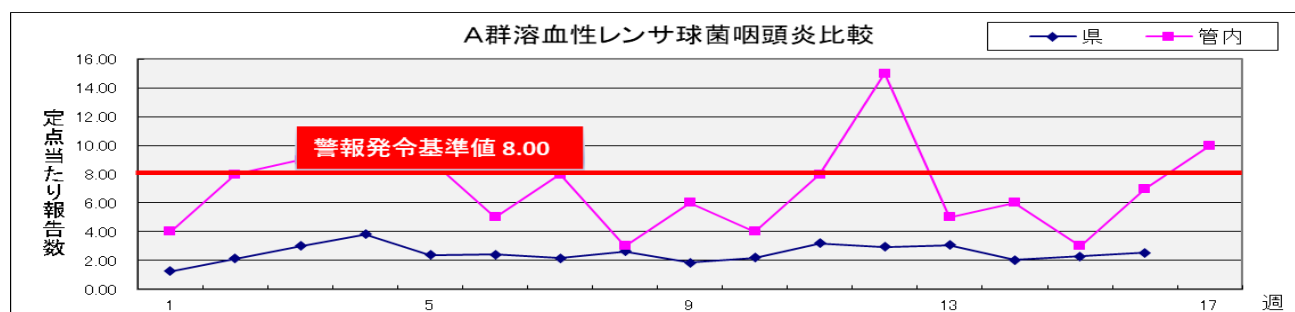


県民の皆様への注意喚起

- ①麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。
- ②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防法の1つです。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

注意すべき感染症

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令！）



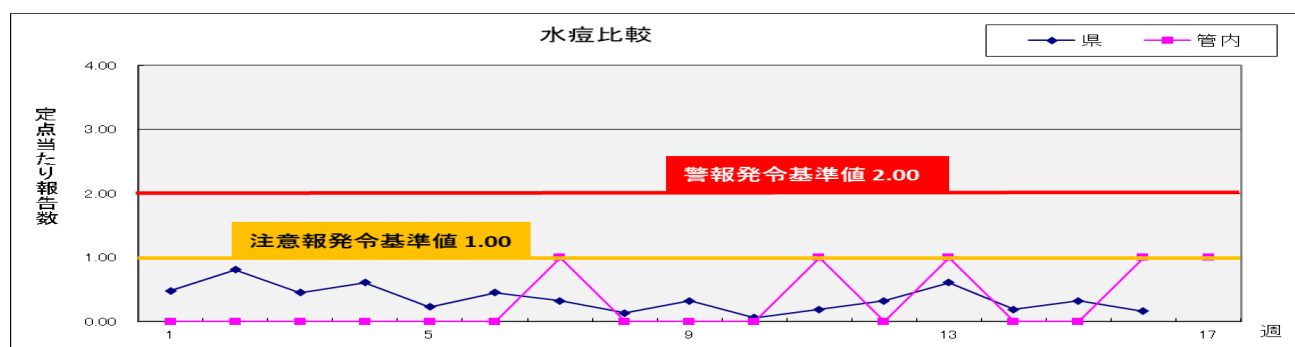
第 17 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、10 人でした。年齢別では、5 歳（3 人）、3 歳・4 歳（各 2 人）、7 歳・9 歳・10～14 歳（各 1 人）の報告でした。

感染すると、2～5 日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ 水痘（流行発生注意報発令中）



第 17 週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、1 人でした。年齢別では、0～5 ヶ月（1 人）でした。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から 2 週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が 2～3 日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する 1～2 日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 4/20～4/26（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、感染性胃腸炎が 1 人（日置市）報告されています。